

◇伊丹創生人口ビジョンの将来展望シミュレーション

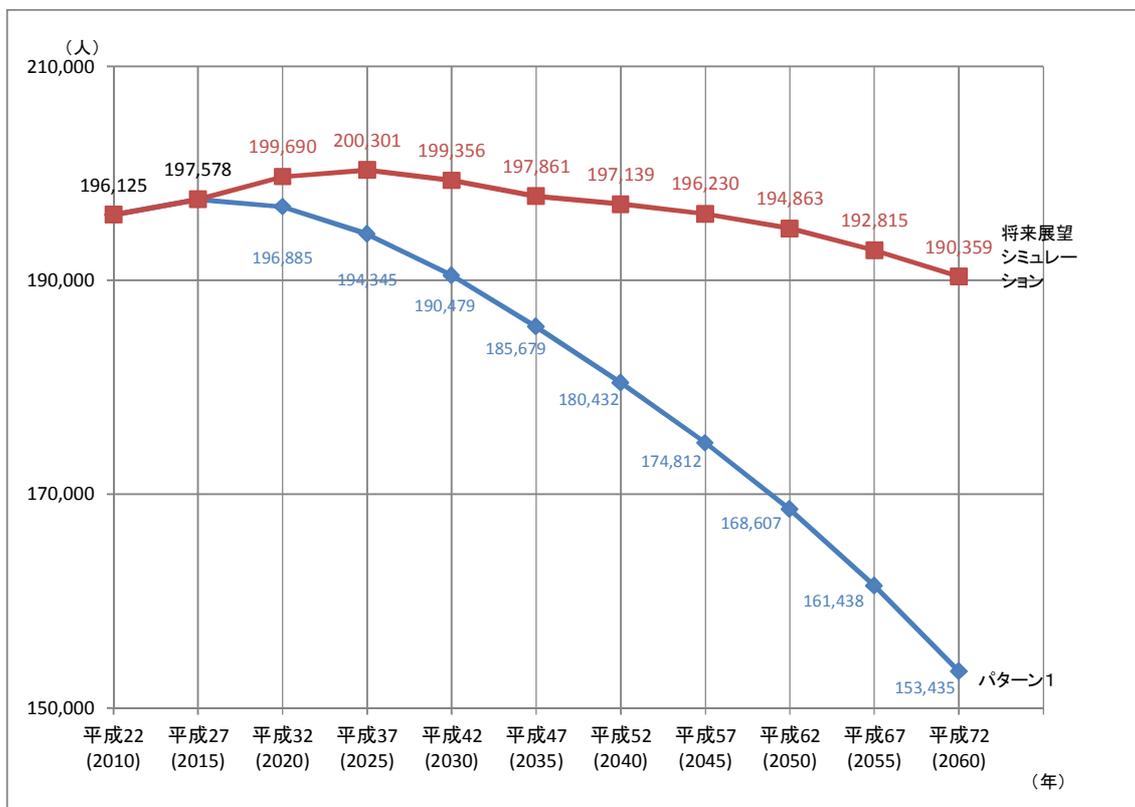
○シミュレーション設定条件

	出生率	社会増減			
		安全、安心、にぎわいづくり施策による	子育て世代向け施策による	大規模開発による	
パターン1	国立社会保障・人口問題研究所想定を採用				
将来展望シミュレーション	年	出生率	2015～2060年 100人/年 ※国勢調査の5歳階級男女別5年前との常住地の異なる率に応じて配分	2015～2060年 100人/年 世代 増加数 0～9歳 20人/年 20～39歳 80人/年 合計 100人/年	2015～2025年 100人/年 ※国勢調査の5歳階級男女別5年前との常住地の異なる率に応じて配分
	2015年	1.59 ※1			
	2030年	1.82			
	2040年	2.07			

※1：2015年の出生率については、直近の2013年の速報値を採用

※2：国立社会保障・人口問題研究所想定

○将来展望シミュレーショングラフ



(参考) 人口推計と人口増減の相関

(上段：将来展望シミュレーション 下段：パターン1)

